



梅雨といえは、...

紫陽花、(6月ということ)ドリームジャンボ、祝日がない、ジューンブライドなど連想するものがあると思いますが、こと釣り師に言わせてみれば「梅雨グロ(グレ)」と言うに違いありません。

この季節マリトレジャーもやや気重になりがちですが、釣り師は例外でしょう。他にも、キス、イサキなど対象魚は色々です。ただ、台風の襲来時期でもありますし天候には十分注意が必要です。

ということで、本号では釣行における注意事項の再確認をお願いしたいと思います。

最新の**気象情報を入手**し、注意報等発令中は思い切って中止しましょう！

そして常に海上模様や雲の動きに注意！

(空の様子(気象)と海の様子(海象)は必ずしも同様ではありません)

家族などに、行き先や**行動予定**を伝えてから出掛けましょう！

万一に備え、服装は、赤や黄色等の**目立つ服装**を！

岩場などに孤立した場合を想定し、**携帯電話等**の連絡手段を確保！

単独行動は避け、転落した際の上陸場所や釣り場の**安全確認**を！

立入禁止となっている場所での釣りは止めましょう！

無理をしないこと!(無理が命取りになります)

岩場は海草などで**滑りやすくなっている**ので、十分注意!(特に雨の日)

ライフジャケットは常時、正しく着用！

万一の祭は、クーラーやペットボトルなど**浮力**のあるものや**ロープ**などを投入し、救助機関に連絡を!**海のもしもは118番へ!**



私の町、私の母港



今回は桜島港です。

海の玄関口としての港の様子や春にオープンした海釣り公園付近の状況が分かると思います。

2005.5 るりかけす1号撮影

本コーナーは、鹿児島航空基地の航空機がパトロール中に撮影した航空写真を毎回紹介するコーナーです。



JAPAN COAST GUARD

釣りをする時は、

ライフジャケット着用!

海上保安庁

潮かおる緑の島、知林ヶ島

指宿市より、渡島禁止の注意喚起が行われていました「知林ヶ島」に砂がもどってきました。写真は先月末に撮影されたものですが、昨年の度重なる台風により吹き流されていた砂州が形成されつつあるようです。

詳しい情報は、指宿市作成の「知林ヶ島ホームページ」
～あなたも島に歩いて渡ってみませんか～ をご覧になってください。
URL は、以下のとおりです。

<http://www.city.ibusuki.kagoshima.jp/tirin-homepage/tirintop.htm>

ただし、島に渡れる時間帯は非常に短く昨年も島に取り残された事例があり、また、周辺は砂州が形成されるほどに潮の流れが速いので、決して泳いだり無理して渡ることのないようお願いします。(別添、測量船いそしお観測データ参照)



るりかけす 1号撮影



洋上で出会ったイルカたち

決して芸を仕込んだ訳ではありませんが、なんと人なつっこいことでしょう！

6月4日 都井岬 北東沖合約10KM付近にて

るりかけす 1号撮影

ダイバー死亡事故（鹿児島市桜島沖）

今月上旬の午前6時頃、鹿児島市の桜島沖でダイビング中の男性(50代)が、**くも膜下出血を発症し溺れて死亡する事故**が発生しました。

亡くなった男性はダイビング仲間と共に前日から付近海岸でキャンプをしていましたが、明け方近くまで飲酒のうえ2時間ほど就寝した後、ダイビングを開始したところ事故に遭遇したものです。

これからシーズンを迎えますが、ダイバーの皆様、**家族を悲しませることのないよう「健康・体調管理」**に万全を期し、マリトレジャーを楽しんで下さい。



ところで、今回の事故のほかに平成13年から**飲酒に関係したマリトレジャー**を含む海浜事故を調査した結果、管内で7件発生しており、内訳は以下のとおりですが、4名の尊い人命が失われています。

事故類別	活動内容	事故件数
釣り（夜釣り含む）	飲酒をしながらの釣りに転落した	3件（ 1名死亡 ）
遊泳中（素潜り含む）	飲酒直後或いは仮眠後の遊泳中に溺れた	4件（ 3名死亡 ）

これらは、飲酒により平衡感覚が狂って転落したり、気が大きくなって海に飛び込んだりしたことが要因となっていますが、その他にも次のようなことが考えられます。

アルコールが人体に与える影響

思考・判断力の低下、注意力の散漫、持続性低下、運動能力の低下

体温調節中枢の抑制、発汗などにより低体温となる

心拍、呼吸数の増加

低血糖発作

悪心、嘔吐、吐血

脱水症状、血圧低下

はよく知られた影響ですが、それ以外の項目はあまり認識されていないのではないのでしょうか。酔いは醒めていても体の変調は回復していない場合もあります。低体温や脱水症状の状態で海に入ることがどのような結果を招くか想像してみてください。飲酒に起因した事故の結末が予想以上に重大な事態を招くには、こうした理由があるのではないかと考えられます。

参考情報

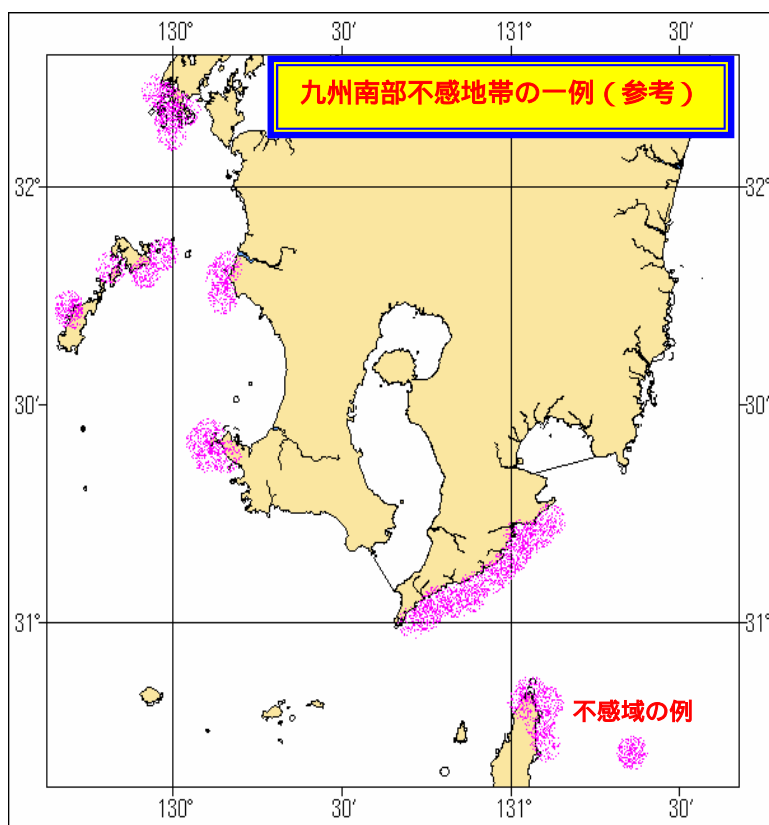
DAN (Divers Alert Network of Japan) について



DAN は安全潜水に関する情報や緊急時の医療援助システムをスキューバダイバーに提供するための全国規模の会員制組織です。また、DAN JAPANは国際 DAN とも連携し、海上保安庁の支援を受けて運営されています。

詳しくは、DAN のホームページ www.danjapan.gr.jp をご覧下さい。

携帯電話の不感域について



携帯電話にはご存知のとおり、中継局アンテナの設置位置により、サービスエリアが決まっており、逆に言うところこのエリアの外側については、“圏外”となり通話できません。

左の図は、参考例ですがサービスエリアは携帯電話各社によりまちまちですので、お持ちの携帯電話に関してホームページなどで確認されることをお勧めします。ちなみに、九州南部でみたところ、大隅半島の火埼から佐多岬の間、薩摩半島の野間崎、串木野から薩摩川内までの海岸

線、その他離島や複雑な海岸線においては圏外となっている場合が多いようです。

また、圏内であっても、岩陰や入り江などでは、局地的な不感域となる可能性があるため、釣り場などでは一度携帯電話の受信状況を確認しておくことが大切です。

第十管区海上保安本部では、マリンレジャー中の海難等、事故の発生に備えて118番への通報を呼びかけておりますが、携帯電話各社に対して、灯台など当庁の施設及び敷地をアンテナ設置用に提供することで、不感域の解消に役立てることができないか呼びかけも行っているところです。